

長崎県総合計画

みんなの未来図 2030

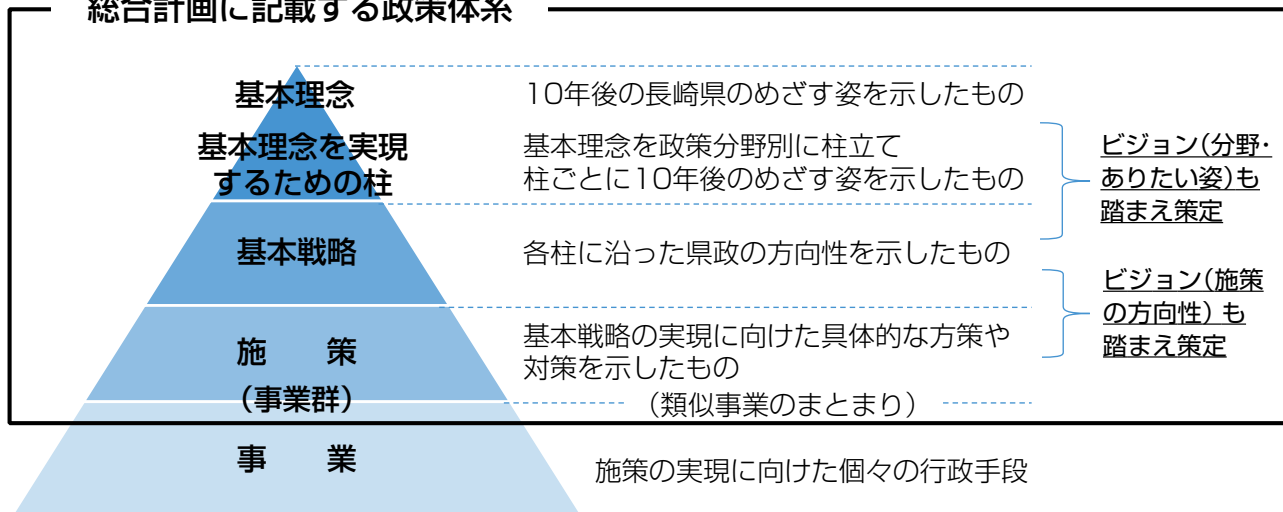


1 計画の概要

計画の位置づけ

- 県政における最上位の計画として、5年間の政策の方向性を示すものです。
- 「新しい長崎県づくりのビジョン」とタイアップするとともに、国の政策（地方創生2.0等）とも連動して構築します。
- 「長崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略」としても位置づけ、一体的に取り組みます。

総合計画に記載する政策体系



計画期間 | 令和8年度(2026年度)>> 令和12年度(2030年度)

策定の趣旨

グローバル社会における競争力を高め、県勢の持続的な発展につなげていくため、今後の県政の運営の指針や考え方を県民に分かりやすく示した新たな総合計画を策定することとしました。

計画の特徴

- 県内外の多方面から選ばれる長崎県の実現に取り組む計画
- 県民、地域、各種団体、大学、企業、市町等との連携による「県民総ぐるみ」の計画
- 目標値設定と成果検証、事業推進の仕組みを取り入れた計画

2 時代の潮流と長崎県の強み

人口構造や社会経済情勢の変化など時代の潮流を捉えながら、本県のポテンシャルや特性を活かし、グローバル社会における競争力を高め、県勢の持続的な発展を目指します。

時代の潮流

- 人口減少・少子高齢化の進行
- 価値観・ライフスタイルの多様化、多様性社会
- デジタル化・先端技術の進展
- 気候変動、カーボンニュートラル社会の実現
- グローバル化の更なる進展
- 国際情勢の複雑化と世界平和
- 災害の激甚化・頻発化、インフラの老朽化の進行

長崎県の強み

- 新しいまちづくりを活かした地域活性化
- 国家戦略特区による新技術の実装
- 個性あふれる離島、豊かな海洋資源と食
- 美しく豊かな自然、多様な歴史・文化
- 海外との交流

3 計画の基本理念

ながさきの誇りと希望を力に、みんなで夢あふれる未来をひらく

- 人口減少や少子高齢化、東京一極集中など、人口構造や社会経済情勢が大きく変化する中、本県においても、国の「地方創生2.0」の基本姿勢と同様に、当面の人口・生産年齢人口の減少という現実を正面から受け止めたうえで、都市と地方、さらには地方同士の人材交流・循環を促進し、人口減少社会にあっても経済成長を実現し、力強い地域社会の構築に取り組んでいくことが求められます。
- また、本県が将来にわたり持続的な発展を遂げるためには、デジタル技術や広域モビリティを活用して距離や時間に捉われずに、多様な主体と連携しながら、県境を越えた取組を含めてヒト・モノの広域的な共創を進め、新たな価値の創造を通じて県民の皆様が豊かさを実感できる地域デザインの実現を目指すことが重要であり、こうした地方創生の取組を推進するにあたっては、国が示す全国一律の施策に加え、県内各地域の実情に応じたきめ細かな対策を地域の力を結集して展開していくことが不可欠です。
- そのためには、その基盤となる経済の活性化に向けて、新たな成長産業の育成を含む力強い産業の実現と良質な雇用の創出、若者や女性をはじめ誰もがチャレンジし、活躍できる環境づくりに力を注いでまいります。
- さらに、地域の活力を維持・向上させるため、最先端技術を効果的に活用し、「稼ぐ意識や力」を高めながら、国内外の多様な地域や人々との交流を促進し、世界に存在感を示す「新しい長崎県」づくりに取り組みます。
- 加えて、本県の将来を担うこどもたちへの投資を未来への投資と捉え、こどもたちが健やかに成長し、能力と可能性を高めることを社会全体で支え、様々な活躍につなげてまいります。
- そして、多様な価値観や個性が尊重され、すべての世代が健康で安心して暮らせる社会環境づくりの推進、社会インフラ基盤の整備や災害に強い安全・安心な地域の実現にも取り組んでまいります。

4 基本理念を実現するにあたっての基本姿勢

計画の策定や各施策の推進にあたっては、次の基本姿勢を持って臨みます。

● デジタル技術の活用

最先端技術を活用し、県民生活の利便性向上や産業の活性化、行政運営の効率化等に取り組めます。

● 戦略的情報発信・ブランディングの展開

分野横断的視点・マーケティングに基づく戦略的な情報発信に取り組めます。併せて、総体的なイメージ向上につながるブランディングを進め、多方面から選ばれる「新しい長崎県」づくりに取り組めます。

● ダイバーシティ&インクルージョンの推進

年齢や性別、国籍、障害の有無等にかかわらず、誰もが自分の能力や特性を活かしながら活躍できるよう各施策に取り組めます。

● 特区制度の活用

国家戦略特区制度を活用した規制緩和措置の実証等を通して、地域課題の解決に向けて先進的な発想で各施策に取り組めます。

● 「稼ぐ」視点の反映

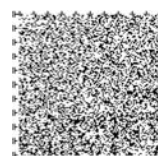
地域資源を活かし、地域の稼ぐ意識と力を高めることで、自立的かつ持続的な地域経済の発展と県民所得の向上に取り組めます。

● 人材の確保・育成

● 分野横断・融合的な取組の推進

● 多様な主体との連携・協働の推進

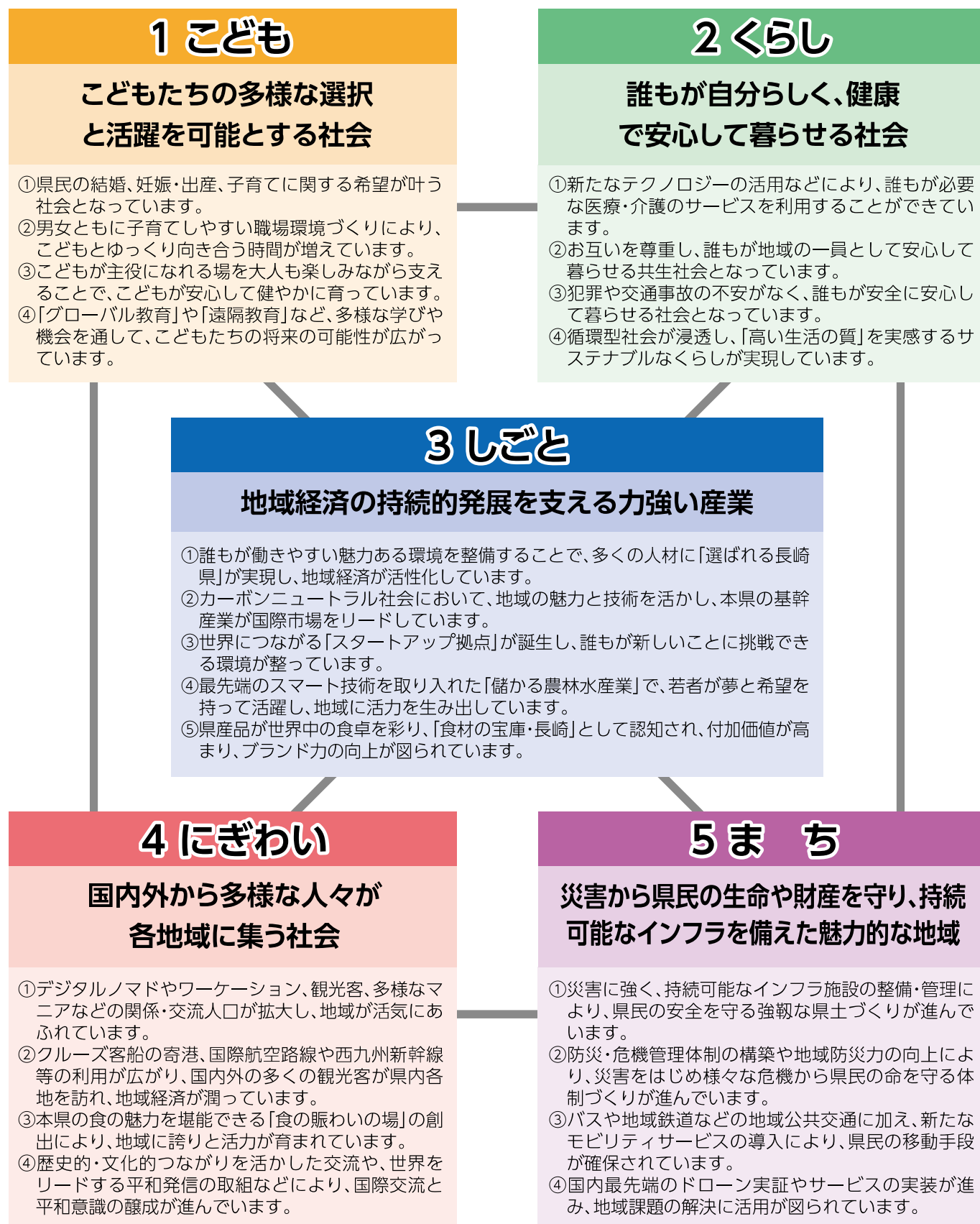
● SDGs(持続可能な開発目標)の反映



5 基本理念を実現するための柱

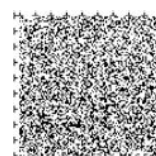
新しい社会経済システムへの転換や複雑・多様化する諸課題にも、きめ細かに対応するため、「こども」「くらし」「しごと」「にぎわい」「まち」の5つの柱のもと、基本戦略と施策を掲げます。

5つの柱(上段)における「10年後のめざす姿(中段)」と「ありたい姿の主な具体像(下段)」



6 政策展開の基本方向

柱	基本戦略	施策
1 こども	1 こどもたちの将来の可能性を広げ、挑戦を応援する	1 こどもまんなか社会の実現に向けた学校・家庭・地域が連携したこどもの育成 2 保育・教育施設等におけるこどもの安全の確保 3 地域資源を活用し、こどもたちの新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進 4 すべてのこどもたちを支援する魅力ある学校教育の環境づくり
	2 希望が叶う「結婚、妊娠・出産、子育て」を切れ目なく支える	1 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための一貫した支援 2 こども時間の拡大に向けた職場環境の整備 3 きめ細かな対応が必要なこどもや家庭への支援
2 くらし	1 健康で生きがいを持って暮らせる社会をつくる	1 地域の医療・介護のサービス確保及び充実 2 健康づくりと生きがいづくりの促進
	2 多様性を尊重し合う共生社会をつくる	1 互いに支え合う地域共生社会の更なる推進 2 男女が性別にかかわらず個性と能力を発揮できる社会づくり 3 多文化共生社会の推進
	3 安心して生活できる環境づくりを推進する	1 犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくり 2 食品の安全・安心の確保と消費生活の安定・向上 3 カーボンニュートラルの実現を目指した持続可能な社会づくり 4 環境への負荷が少ない循環型社会づくり 5 水・大気環境の確保と生物多様性の保全 6 動物愛護管理の推進
	1 時代の変化に対応する力強い産業を創出する	1 カーボンニュートラル社会に向けた基幹産業の振興 2 中小・小規模事業者の支援を通じた地域産業の持続的発展 3 若者をはじめ、幅広い世代に魅力的な企業誘致の推進 4 スタートアップの創出と成長支援 5 地域を支える企業の人材育成・確保 6 地域の産業を共に支える外国人材の受入れ・定着の推進 7 県産品のブランド力向上と付加価値の高い販路の拡大
	2 誰もが活躍できる職場環境をつくる	1 誰もが働きやすい職場環境づくり 2 職業生活における女性活躍の推進
	3 魅力ある持続的な農林水産業を育てる	1 力強く稼ぐ持続的に成長する水産業づくり 2 力強く稼ぐ持続的に成長する農林業づくり 3 次代を担う意欲あふれる担い手の確保・育成
4 にぎわい	1 地域の魅力で人を惹きつける	1 観光客の心をつかみ、選ばれる持続可能な観光の推進 2 長崎の食の賑わい創出 3 特色ある文化資源・スポーツによる地域の賑わいづくり 4 地域の魅力を活かした農山漁村の賑わいづくり 5 ながさき暮らしの魅力で呼び込むUターン・Iターン促進 6 デジタルノマド等の関係人口と地域との交流促進
	2 国内外とのネットワークを拡大する	1 道路・港湾・空港等の交通ネットワークの充実 2 九州新幹線西九州ルートの中線フル規格の推進 3 国際交流と平和意識醸成の推進
5 まち	1 災害に強い県土をつくる	1 県民の暮らしと命を守る強靱な県土づくり 2 災害などさまざまな危機から県民の命を守る体制づくり
	2 活力にあふれた持続可能な地域をつくる	1 活力にあふれた都市・地域づくり 2 離島・半島などの地域社会の維持・活性化 3 地域を支える公共交通の維持・確保 4 デジタル技術を活用した地域活性化と行政運営の効率化



7 基本戦略・施策

こども

こどもたちが安全・安心に健やかに成長し、将来への希望を持ってその個性や能力を発揮できる多様な選択と活躍を可能とする社会を目指します。

基本戦略 1

こどもたちの将来の可能性を広げ、 挑戦を応援する

主な目標

こどもたちの
自己肯定感

基準値*から上昇

*R6:小78.9%、中74.9%
高71.5%

〔新たな取組等〕

- こども場所の充実に向けた官民ネットワークの構築や中間支援組織の設置等による活動者の支援とマッチング促進
- 興味や関心、進路希望等に応じた多様で豊かな学びの拠点となる「遠隔教育センター」の機能充実
- メタバース等のデジタル技術を活用したオンラインによる多様な学びや交流機会創出
- 「教職の魅力化作戦会議」の提言に基づく魅力発信や業務効率化等の取組推進
- 多様なこども・若者の意見表明の機会確保



安全・安心なこども場所（こども食堂）



こどもまんなかミーティング



1人1台端末やオンラインを活用した
遠隔授業の配信



ふるさと教育により交流を深める児童

充実・強化する取組等

こどもまんなか社会の実現に向けた学校・家庭・地域が連携したこどもの育成

- ・こどもや若者の声を取り入れた「ココロねっこ運動」の更なる推進・展開

地域資源を活用し、こどもたちの新しい時代を切り拓く力を育む教育の推進

- ・幼児教育センターを拠点とした幼児教育・保育の質の向上への支援
- ・地域課題の解決に向けた人と産業に出会う探究的な学習の推進
- ・高い語学力とリーダーシップを備えグローバルな視野を持った人材育成

すべてのこどもたちを支援する魅力ある学校教育の環境づくり

- ・地域と高校が一体となって、社会に開かれた魅力ある学校づくりの推進

保育・教育施設等におけるこどもの安全の確保

- ・こども自身がネット・メディアのリスクや望ましい使い方等を自覚し、適切に利用していくスキルを身に付ける機会の提供
- ・校内教育支援センターの設置促進や学びの場を提供している学校外の機関との連携

希望が叶う「結婚・妊娠・出産・子育て」 を切れ目なく支える

主な目標

「結婚、妊娠、こども・
子育てに温かい社会の
実現に向かっていく」
と思う人の割合

45.3% (R7) から

70%に増加

〔新たな取組等〕

- 若い世代へのライフデザインやプレコンセプションケアに関する情報発信や研修等を通じた意識醸成
- こども時間の確保・拡大に向けた周知啓発
- 共家事・共育ての促進
- 産後ケア事業の広域化による利用促進
- こども誰でも通園制度による、すべての子育て家庭への支援強化
- 予期しない妊娠や貧困などでこどもを育てることが難しい特定妊婦等への支援
- 小児慢性特定疾病のあるこどもの自立に向けた支援



「共家事・共育て」ロゴマーク



若い世代に向けたライフデザインセミナー



笑顔があふれる保育の現場



アドバイザー派遣（男性育児休業取得促進）



長崎県婚活サポートセンター
あいたかりーフレット

充実・強化する取組等

結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための一環した支援

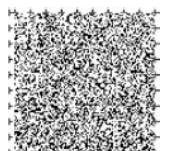
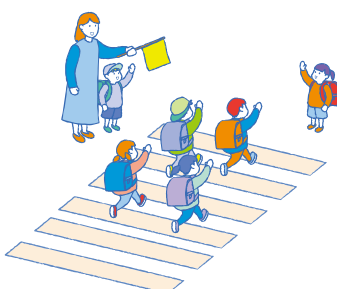
- ・市町、企業・団体等が実施する取組の相乗効果による多様な出会いの場の創出
- ・保育人材の安定的確保に向けた施策の推進
- ・性に関する教育の充実や、関係機関・団体等と連携した教育の普及

こども時間の拡大に向けた職場環境の整備

- ・研修会開催や専門家派遣、優良企業認証による企業の雇用環境改善の促進

きめ細かな対応が必要なこどもや家庭への支援

- ・こどもの貧困総合相談窓口における電話やSNSを活用した相談支援の実施



くらし

多様な価値観や個性が尊重され、誰もが自分らしく人生100年時代を健康で安心して生き生きと暮らせる社会を目指します。

基本戦略 1

健康で生きがいを持って暮らせる社会をつくる

主な目標

健康寿命

平均寿命の増加分を上回る

健康寿命*の増加

*R4

平均寿命 男性81.13年 女性87.00年

健康寿命 男性72.24年 女性75.32年

〔新たな取組等〕

- ICTの活用による遠隔医療、医療DXの推進
- ドクターヘリの運用を含めた総合的な救急医療提供体制の構築
- 介護現場におけるテクノロジーの導入等による生産性向上への支援
- 気軽に楽しく健康づくりに取り組むことができる「歩こーで!」の活用促進
- ニュースポーツ等の普及・定着化に向けた県民向けスポーツイベントの開催



離島病院(上五島病院)での医師と患者



離島病院(対馬病院)における看護職員と新生児



移乗支援機器(ベッドから車いす)の使用



ドクターヘリ

充実・強化する取組等

地域の医療・介護のサービス確保及び充実

- ・持続可能な小児・周産期の医療供給体制の構築
- ・在宅医療と介護サービスの連携推進
- ・医療人材や介護人材の育成・確保・定着

健康づくりと生きがいづくりの促進

- ・健康的な生活習慣の確立及び誰もが自然に健康になれる食環境づくり



気軽にスポーツしよう!プロジェクト



基本戦略 2

多様性を尊重し合う共生社会をつくる

〔新たな取組等〕

- ケアラー、ひきこもりを対象とした8050問題も含めた相談支援体制整備
- 人権施策のあり方に関する検討委員会の意見を踏まえた人権施策の推進
- 男性の家庭参画や育児・介護休業取得等に対する地域や職場の理解促進
- 県内全市町への多文化共生推進拠点の設置に向けた支援

充実・強化する取組等

互いに支え合う地域共生社会の更なる推進

- ・認知症の人やその家族を地域で支えあう仕組みづくり
- ・困難な問題を抱える女性やDV被害者、そのこどもに対する市町や関係機関、民間支援団体等と連携した切れ目ない支援

男女が性別にかかわらず個性と能力を発揮できる社会づくり

- ・あらゆる分野において男女共同参画を進めるため、様々な関係機関や団体と連携・協働

多文化共生社会の推進

- ・多言語による外国人相談窓口の設置・運営や防災情報の提供

主な目標

包括的な相談支援体制の構築・明確化が
できている市町

2市町(R5)から

21市町に増加



長崎県ケアラー支援条例ポスター



地域日本語教室

基本戦略 3

安心して生活できる環境づくりを推進する

〔新たな取組等〕

- ニセ電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺を含む匿名・流動型犯罪グループによる犯罪に対する取締りの推進
- 長崎県動物愛護管理センター(仮称)の整備推進
- ゼロカーボンアクション12の周知啓発
- 4R(ごみの発生抑制、排出抑制、再使用、再生利用)の推進に向けた、SNS等による効果的な情報発信・周知啓発

充実・強化する取組等

食品の安全・安心の確保と消費生活の安定・向上

- ・食品の安全性に関する意見交換会や講習会等のリスクコミュニケーションの実施
- ・消費生活相談のDXによる相談員の業務効率化の推進

水・大気環境の確保と生物多様性の保全

- ・自然共生サイトの取組や生物多様性保全活動の支援
- ・自然公園等の利用環境の上質化

主な目標

温室効果ガス排出量
(二酸化炭素換算)

1,097.3万トン(H25)から

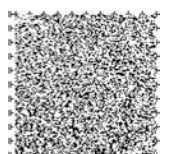
**592.5万トン
に削減**



日韓ビーチクリーンアップ事業



動物愛護管理センター(仮称)
イメージ図 鳥瞰図



しごと

国際情勢や気候変動、新しい時代に対応した産業の振興とともに、新たなサービスの創出や先端技術の社会実装を進め、地域経済の持続的発展を支える力強い産業を目指します。

基本戦略 1

時代の変化に対応する 力強い産業を創出する

主な目標

基幹産業4分野売上高
半導体関連産業売上高1兆円
造船関連産業売上高過去最高、
9,587億円(R5)から
1.6兆円に増加

〔新たな取組等〕

- 半導体製造装置等アンカー企業誘致・受注体制構築
- 航空機関連産業における県内中小企業の技術力向上
- 産学官が連携した造船関連人材の確保・育成
- 海洋エネルギー関連産業の受注獲得等に関する支援
- 商工団体の体制強化と小規模事業者の伴走支援強化による経営力向上
- スタートアップと投資家とのマッチングイベント開催
- アンカー企業の立地促進に向けた工業団地整備推進
- 県アンテナショップとECを連動させた認知度・購買意欲向上



CMOSイメージセンサ
(提供:ソニー(株))



航空機(提供:双日エアロスペース(株))



商船建造(提供:株大島造船所)



洋上風車(提供:戸田建設(株))



ミライ企業Nagasaki



日本橋長崎館

充実・強化する取組等

中小・小規模事業者の支援を通じた地域産業の持続的発展

- ・地域を支える食料品製造業等の支援

地域を支える企業の人材育成・確保

- ・「ながさきUターン就職支援センター」を拠点に、県外大学との連携によるUターン就職対策の強化

地域の産業を共に支える外国人材の受入れ・定着の推進

- ・相談対応や環境整備支援、本県で働く魅力発信等による受入・定着促進
- ・留学生をはじめとする高度外国人材の受入促進

県産品のブランド力向上と付加価値の高い販路の拡大

- ・輸出拡大に向けて成長性が見込まれる新規市場における商流構築

基本戦略 2

誰もが活躍できる職場環境をつくる

〔新たな取組等〕

- 女性管理職が集まり、交流、情報交換、スキルアップ等を図るためのネットワークの構築
- 女性のライフステージに応じた学び直し(リスキリング)の機会提供

充実・強化する取組等

職業生活における女性活躍の推進

- ・企業経営者等の意識改革や女性の採用・管理職登用等に向けた人材育成研修等の実施

誰もが働きやすい職場環境づくり

- ・研修会開催や専門家派遣、優良企業認証による企業の雇用環境改善の促進



Nびかロゴマーク

主な目標

事業所*における管理職
(課長相当職)に占める
女性の割合

31.6%(R6)から

39.1%に上昇

*常用労働者5人以上を
雇用する事業所



ながさき女性活躍推進企業等表彰
表彰式

基本戦略 3

魅力ある持続的な農林水産業を育てる

〔新たな取組等〕

- スマート技術の活用や経営多角化等による漁業者の経営力向上
- 地域の中核となる養殖経営体によるデジタル技術導入など先進的取組の展開・普及
- 資源変動やマーケットニーズに対応し産地の競争力を高める加工・流通の強化
- スマート農業等の新技術導入や生産体系の改善による生産性向上
- 農業のグリーン化の推進と地域課題に即した技術導入
- 気候変動に対応するための品種・技術の開発、実証及び普及

充実・強化する取組等

力強く稼ぎ持続的に成長する水産業づくり

- ・高水温、赤潮等の自然や社会経済環境に対応する産学官連携による養殖技術開発
- ・本県の強みを生かし、多様な国に販路を広げる輸出の展開

力強く稼ぎ持続的に成長する農林業づくり

- ・企業、ボランティア等との共同による集落の資源保全活動や農作業のアウトソーシング化の推進

次代を担う意欲あふれる担い手の確保・育成

- ・産地自ら担い手と呼び込む情報発信、研修等の取組の推進
- ・漁業への就業相談、技術習得、着業、経営自立等の切れ目ない支援

主な目標

海面漁業・
養殖業産出額

1,238億円(R5)から

**1,270億円に
増加**

農林業産出額

1,650億円(R5)から

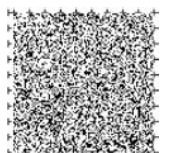
**1,708億円に
増加**



ドローンによるばれいしょの防除作業状況



最先端機器を駆使して操業する漁業者



にぎわい

歴史や文化、自然、景観、豊かな食など人々を惹きつける多様な資源を有するポテンシャルを活かし、国内外から多様な人々が各地域に集う活力あふれる社会を目指します。

基本戦略 1

地域の魅力で人を惹きつける

〔新たな取組等〕

- 地域主体による魅力ある観光まちづくりや地域連携による広域周遊促進の取組に対する支援
- インバウンドの個人旅行化に対応した誘客プロモーション
- 観光データや生成AI等を活用した効果的なプロモーション
- ガイド人材の育成とデジタル技術活用による案内体制の強化
- 食の賑わい拠点の試行・実証
- ながさきピース文化祭2025を一過性の取組に終わらせないため、市町等と連携した「人づくり、基盤づくり、地域づくり」の仕組みの継承
- 観戦型スポーツイベント等の誘致促進
- デジタルノマド受入に対応可能なコミュニティマネージャーの育成

主な目標

観光消費額（総額）
4,587億円（R6）から
**過去最高*の
5,225億円に
増加**

*公表値ベース

延べ宿泊者数
748万人泊（R6）から
**810万人泊に
増加**



香港でのPR風景



食の賑わいの場の試行（佐世保朝市）



V・ファーレン長崎応援



©VVN 地域おこし協力隊研修会

充実・強化する取組等

特色ある文化資源・スポーツによる地域の賑わいづくり

- ・本県ゆかりの作品舞台を巡る「聖地巡礼」など交流人口の拡大
- ・学校運動部活動の地域展開の推進

地域の魅力を活かした農山漁村の賑わいづくり

- ・受入規模拡大に向けた農泊実践団体間の連携による新たな受入体制づくりへの支援
- ・漁港等の活用や多様な主体の参画による海業の更なる展開

ながさき暮らしの魅力で呼び込むUターン・Iターン・Fターンの促進

- ・ターゲットに応じたより効果的な方法による本県固有の魅力を活かした情報発信

国内外とのネットワークを拡大する

〔新たな取組等〕

- 高規格道路（島原道路、西彼杵道路、長崎南北幹線道路、長崎南環状線）の整備推進
- 既存の国際定期航空路線の安定運航、増便に加え、市場のニーズや動向、経済効果などを踏まえた新たな国際航空路線の誘致
- 九州新幹線西九州ルート（新鳥栖～武雄温泉間）のフル規格による整備の実現に向けた県内外への情報発信
- 次期SDGsの目標に核兵器廃絶を位置付けるための取組の推進

主な目標

高速等ICまで30分で
到着可能な市町の中心部
及び主要交通拠点

43箇所(R6)から
49箇所に増加

国際航空路線
の利用者数

41千人(R6)から
150千人に増加



高規格道路 島原道路（長野IC）



にぎわいを生むクルーズ客船
の寄港（長崎港）



西九州新幹線「かもめ」



長崎空港（提供：長崎空港
ビルディング（株））

充実・強化する取組等

道路・港湾・空港等の交通ネットワークの充実

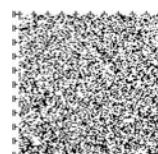
- ・国県道の整備促進
- ・港湾・空港の施設整備
- ・クルーズ客船乗船客の県内各地への更なる広域周遊促進
- ・離島・半島地域などの県内各地へのクルーズ客船誘致の強化



県内中学校での平和に関する
ワークショップ

国際交流と平和意識醸成の推進

- ・市町や関係団体等と連携した留学生や在住外国人と県民との国際交流機会の創出
- ・広島県、県内市町、各国政府やNGO等と連携した平和活動の推進



まち

激甚化・頻発化する災害から県民の生命や財産を守り、将来にわたり生活や経済を支える安全・安心で持続可能なインフラを備えた魅力的な地域を目指します。

基本戦略 1

災害に強い県土をつくる

〔新たな取組等〕

- 地震アセスメント調査結果に基づく防災対策の見直し
- 南海トラフ地震の防災対策の推進
- 孤立集落対策のためのヘリや船舶の活用促進
- 避難所環境の向上に向けた市町の取組に対する支援
- 長大橋のメンテナンスにおける官民連携

主な目標

安全・安心で災害に強い
まちづくりが進んでいると
思う人の割合

43.5%(R7)から
65%に上昇



長崎県総合防災訓練(避難所設営訓練)



長崎県防災ヘリコプター「ながさき」



佐奈河内川(復旧前)



避難退域時検査訓練(放射線量測定)



長崎市消防団(長崎市消防出初式)



佐奈河内川(復旧後)

充実・強化する取組等

県民の暮らしと命を守る強靱な県土づくり

- ・橋梁や岸壁、上下水道等の耐震化
- ・河川の整備、ダムの整備、土石流・地すべり・急傾斜地崩壊対策施設整備の推進
- ・建築物、住宅の耐震化
- ・建設業におけるインフラDXなどによる生産性向上

災害などさまざまな危機から県民の命を守る体制づくり

- ・24時間の警戒・監視体制、総合防災ネットワークシステム等の充実
- ・南海トラフ地震や近年の災害を踏まえた総合防災訓練の実施
- ・自主防災組織の結成を促進するための研修等の実施、地域防災リーダーの育成
- ・地元自治体や他県と連携した佐世保港のすみ分け実現等の基地対策の推進

デジタル技術等を
活用した新たな
サービス実装の創出件数

新たに
10件を創出

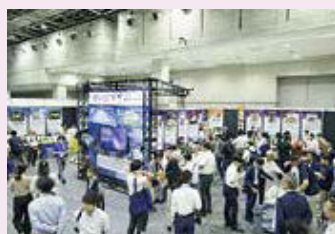
活力にあふれた持続可能な地域をつくる

〔新たな取組等〕

- 県営バスターミナルの再整備による交通結節機能の強化と賑わい創出
- 長崎港元船地区の整備による賑わい創出
- 西海橋公園の再整備による集客力向上
- 離島等の条件不利地域の製品の販路拡大・商品開発等の支援
- 自動運転等の新技術を活用した新たなモビリティサービスの導入促進
- 特区等を活用した規制制度改革や先端的サービス実証の推進
- ドローン活用に係る人材育成・社会実装へ向けた取組の支援



長崎港元船地区整備構想全体イメージ図



県内事業者が参加する食の大型展示商談会



ドローンでの医薬品等配送



川口アパート建替事業 (PFI)



長崎県営バス

充実・強化する取組等

活力にあふれた都市・地域づくり

- ・長崎駅周辺区域の機能的で魅力ある都市環境創出を目的としたデザイン検討・調整
- ・民間資金等を活かした県営住宅等の整備・活用
- ・県庁舎跡地における賑わい創出・交流人口拡大に向けた機能等の整備

離島・半島などの地域社会の維持・活性化

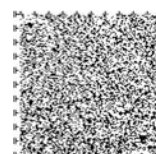
- ・特定有人国境離島地域住民の航路・航空路運賃の低廉化
- ・創業・事業拡大の支援、働き手の確保
- ・地域住民主体の地域運営組織の維持・活性化への支援

地域を支える公共交通の維持・確保

- ・持続可能な地域公共交通ネットワークの形成に向けた支援
- ・関係機関と連携した人材確保対策

デジタル技術を活用した地域活性化と行政運営の効率化

- ・行政手続のオンライン化、AI・RPA等の新たな技術を活用した業務効率化



8 地方創生の取組

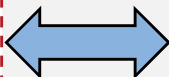
第2期総合戦略

人口減少を抑制する主な施策

自然減対策

- 結婚、妊娠・出産、子育ての意識醸成、社会全体の気運醸成
- 婚活支援 ●子育て支援
- 不妊治療 ●ライフデザイン支援

個別連携



社会減対策

- 県内定着促進 ●UIターン促進
- 働く場の創出 ●女性活躍推進
- 働きやすい職場環境
- 魅力的なまちづくり

長崎県の課題

進学や就職に伴う福岡県や首都圏等への転出が多いことに加え、転出数に対して県外からの転入が少ない傾向

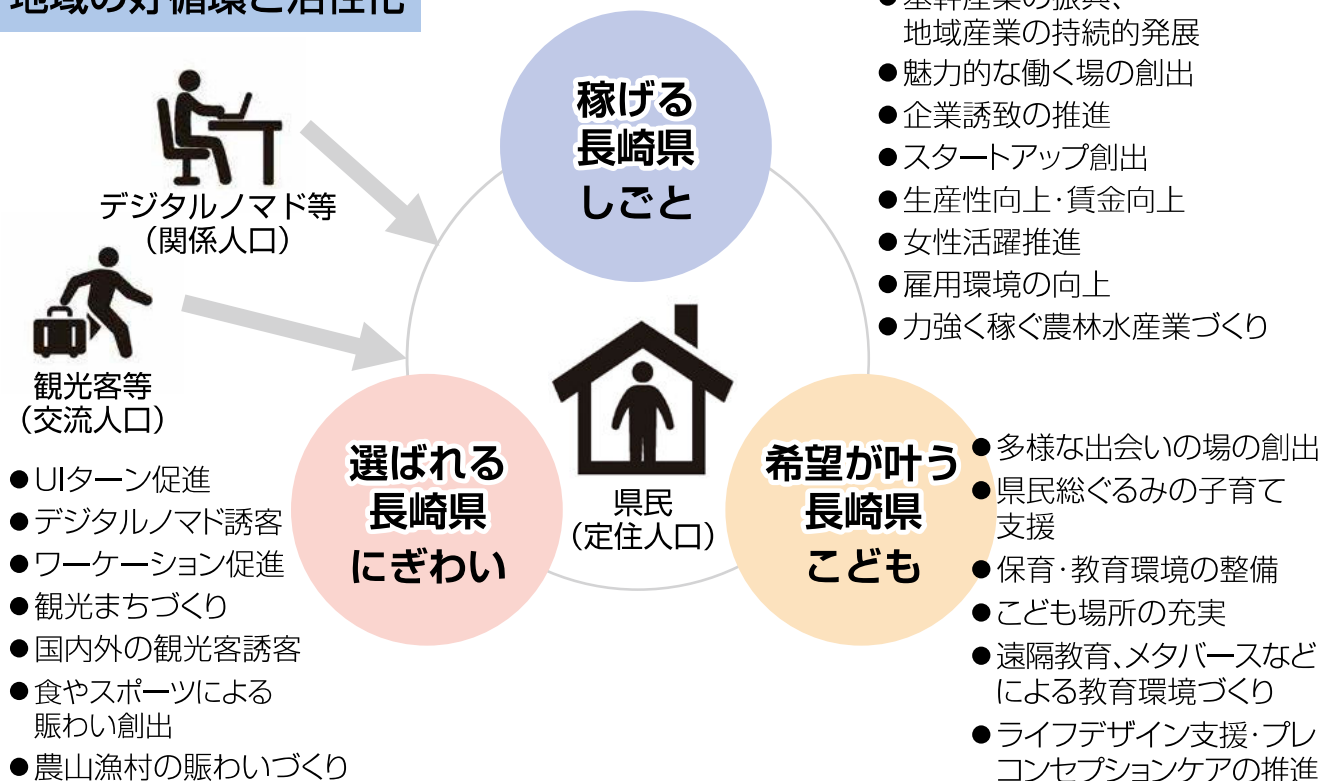
出生数の減少等による自然減の拡大

離島・半島をはじめとした地域コミュニティの維持、担い手不足

総合計画2030 (第3期総合戦略)

若者・女性にも選ばれ、活力を維持・向上させる主な施策

地域の好循環と活性化



くらし・まちの質向上 くらし まち

交通・インフラ

- 地域公共交通の維持・確保
- 災害に備えたインフラ整備
- デジタル技術を活用したインフラメンテナンス

安全・安心

- 地域コミュニティの維持・活性化
- 離島・半島の維持・活性化
- ドローン活用による地域課題の解決

医療・介護

- 地域医療・介護サービスの確保・充実
- 遠隔医療・医療DXの推進
- 医療・介護・保育人材の担い手確保

第3期総合戦略

- 「稼げる長崎県」、「希望が叶う長崎県」、「選ばれる長崎県」の3つの視点から体系化し、地方創生施策の更なる充実・強化を図ります。

①稼げる長崎県

- ・ 基幹産業の振興や中小企業の発展、企業誘致等による魅力的な働く場の創出、デジタル技術の活用による生産性の向上などを推進し、持続的な地域経済の発展と県民の所得向上を図る稼げる地域づくりを推進します。

②希望が叶う長崎県

- ・ 次代を担う若い世代の価値観を尊重しながら、結婚、妊娠・出産、子育ての切れ目ない支援等を充実・強化するほか、地理的条件に関わらない、質の高い多様な学びの提供等により、こどもたちの将来の可能性を広げ、希望が叶う地域づくりを推進します。

③選ばれる長崎県

- ・ デジタルノマド・観光客等の誘客や食の賑わいの創出等により、移住の促進などにおいて獲得を図る「定住人口」に加え、本県と関わりを持つ「関係人口・交流人口」を拡大していくことで、広域的なヒト・モノ等の循環を促進し、国内外の若者や女性から選ばれる魅力ある地域づくりを推進します。

- 加えて、最先端技術の効果的な活用や多様な人材の確保、日常生活に不可欠な生活インフラの維持・向上等を図ることにより、暮らしとまちの質の向上を図ります。

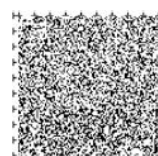
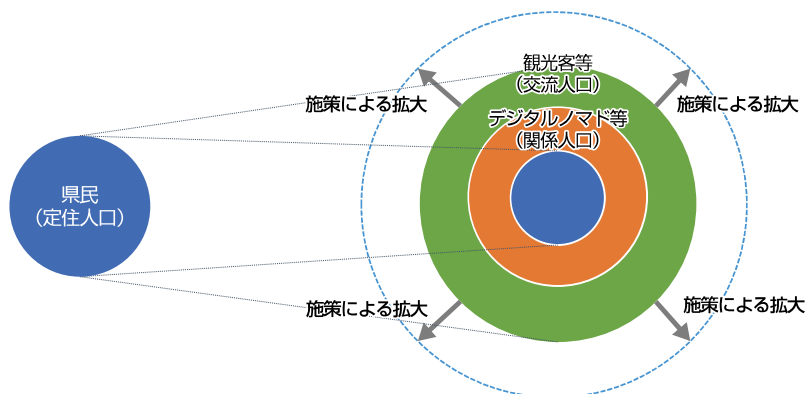
主な数値目標

項目	基準値	目標
転出超過数(累計)	22,810人 (4,562人(R2～R6年平均) ×5年(R8～R12年))	8,945人改善(R12年)
合計特殊出生率	1.39(R6年)	1.64(R12年)
観光消費額(総額)	4,587億円(R6年)	5,225億円(R12年)
地域住民とデジタルノマドの交流回数	—	540回(R12年度)

人口減少社会での成長イメージ

- 定住人口: 地域に住民票を持ち継続的に居住する人々
- 関係人口: 住所地以外の地域に継続的に関わる人々
- 交流人口: 観光や出張など、一時的に地域を訪れる人々

人・モノ・資金の域内循環の拡大
= 地域活力の向上



⑨ 県民所得向上への取組

新たな成長産業の育成を含む力強い産業や魅力ある持続的な農林水産業の実現、地域産業の持続的発展、良質な雇用の場の創出、最先端技術の効果的な活用等に注力し、県民所得向上に向け取り組んでまいります。

めざす姿

製造業

売上高 1 兆円を目標に掲げる半導体関連産業や、過去最高の売上を目指す造船関連産業など、本県をけん引する基幹産業の力強い成長や、地場企業の持続的発展、幅広い世代に魅力的な企業誘致の推進等により、地域経済が活性化し、県民所得の向上が図られている。

サービス産業

地場企業へのDX・デジタル化や賃上げ支援等により、生産性向上や県外需要獲得等が促進され、企業の稼ぐ力が高まり、県民所得の向上が図られている。観光客の多様なニーズに対応したコンテンツづくりや戦略的なプロモーション等により誘客が促進され、観光産業が活性化し、県民所得の向上が図られている。

農業

本県の豊かな自然の恵みを活かした多様な農産物を生産する農業が評価され、環境変化に対応した生産性の高い儲かる産地の形成や、若者・女性などの多様な人材の就農が進むことにより、県内農業が活性化し、県民所得の向上が図られている。

水産業

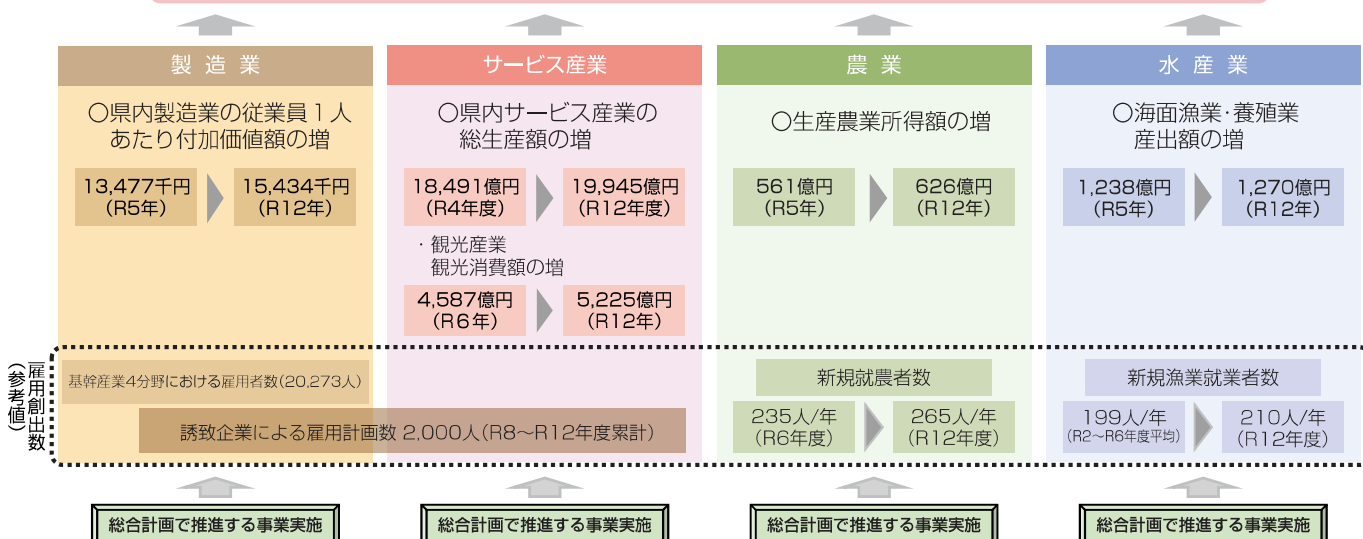
国内外に誇れる本県の豊かな水産物の魅力が評価され、環境の変化に対応した安定的で収益性の高い漁業経営体の育成や、若者・女性など多様な人材の就業が進むことにより、水産業が地域の基幹産業として持続的に成長し、県民所得の向上が図られている。

目 標

県民所得総額 全国20位台を目指して取り組みます

県民所得(長崎県県民経済計算)の増加額 **1,791億円** (令和12年度までの5年間)

製造業 **1,590億円**、サービス産業 **147億円**、農業 **45億円**、水産業 **9億円**



5年間における県民所得の増加額:前計画から倍増

前計画の目標値 令和2年度を基準に、令和7年度における増加額831億円

⇒現計画の目標値 令和7年度を基準に、令和12年度における増加額1,791億円

10 本県の特性を活かした取組

本県の持つ「アジアとの近接性や海外との交流の歴史」、「多様で豊かな自然や独自の歴史・文化を有する離島」といった特性やポテンシャルを活かし、県全体の発展につながる2つのテーマについて取組を進めます。

■ ながさき しまの創生プロジェクト ～人を呼び込み、住み続けられる「しま」へ～

本県の離島地域は、多様で豊かな自然や独自の歴史・文化を有するほか、国境離島地域は、領海等の保全等の拠点として極めて重要な役割を担っています。離島特有のポテンシャルを活かし、定住・関係・交流人口の更なる拡大と地域産業の活性化につなげていきます。

めざす姿

地域資源や先端技術の活用が進み、しまの魅力と稼ぐ力が高まり、国内外から多くの人々が訪れるとともに移住者も増え、将来にわたって住み続けられる「しま」となっている。

ながさき しまの創生プロジェクト

地域資源を活かした産業
活性化と交流人口拡大

地域社会を支える人材の
確保・育成

継続的な居住を可能とする
ための不利条件の克服

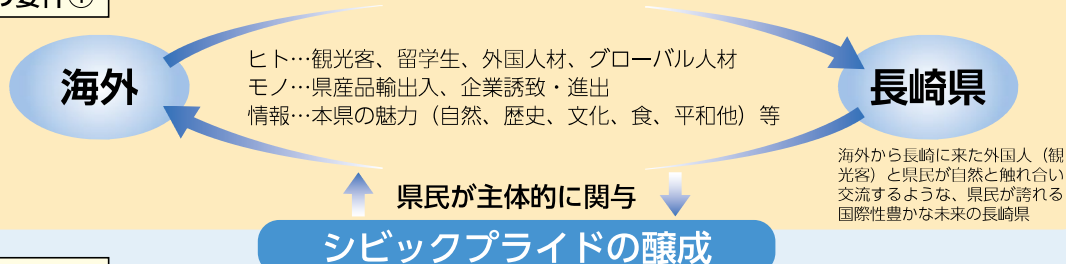
■ 「国際県」ながさき ～世界とつながり、選ばれる長崎県～

アジアへの地理的近接性や海外との長年にわたる交流によって培われた独自の歴史・文化、人々を魅了する美しい自然など、本県が持つ多様なポテンシャルを活かし、交流人口の拡大と地域活性化につなげていきます。

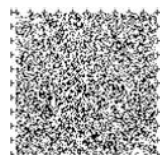
めざす姿

「国際県」として世界各地から外国人観光客や留学生が訪れ、県民との触れ合いを通じて活発な交流が行われている風景が日常となっている。また、世界に選ばれることで、海外の活力を取り込みながら、経済的な発展へとつながり、まちが活気にあふれている。

「国際県」
の要件① = 海外とヒト・モノ・情報の活発な出入りが県内で広く行われている



「国際県」
の要件② = 県民一人ひとりが「国際県」の担い手であるとの誇りを持って行動している



11 地域別の取組

「地域別の取組」では、総合計画本体に掲載されている施策のうち、地域の特性や課題を踏まえ、地域のめざす姿と重点的に進めていくべき取組の方向性を示します。また、他地域と比較して特色ある取組や地域の実情・課題等に対応した取組を併せて示します。

なお、県内全域で共通して取り組むことは計画本体に記載のうえ推進することとし、「地域別の取組」には各地域の特徴的な取組を記載しています。

※ダイジェスト版では「地域のめざす姿」の概要をお示ししています。

めざす姿

- ① 立地特性を活かした観光・インバウンド促進、「壱岐みらいキャンパス構想」等を通じた地域の賑わい創出
- ② 壱岐市「壱岐新時代プロジェクト」との連携等による安心して暮らせる地域コミュニティ形成
- ③ 新規就農支援や海業推進、壱岐焼酎の販路拡大等による持続可能で活力あるしまづくり



猿岩



壱岐焼酎（提供：壱岐市）

壱岐地域 壱岐市



白嶽



アナゴ刺身

対馬地域 対馬市

めざす姿

- ① 海業をはじめ特有の自然・文化等を活かした産業振興と担い手育成の好循環による持続可能なしまづくり
- ② 独自の自然・歴史・文化を活かしたしまづくりや韓国人観光客拡大を活かした島内経済活性化
- ③ 生物多様性の保全、河川改修・道路整備の推進や生活路線の維持など安全・安心な暮らしを支えるしまづくり



頭ヶ島天主堂



肉用牛の一部一貫経営

五島地域

五島市、新上五島町
小値賀町※

めざす姿

- ① 総合物流拠点施設の整備、農水産物の付加価値向上、しま産品のブランド化・販路拡大等による力強い産業の実現
- ② 世界遺産、日本遺産、日本ジオパーク等を活用した誘客、海業の推進等による賑わいあるしまづくり
- ③ 若者の島内就職促進、移住促進、第1次産業の就業支援等の取組を進め、五島地域の今を支える人・未来を担う人を育むしまづくり
- ④ 遠隔医療促進、インフラ整備、航路・航空路の運賃低廉化等の取組を進め、安全で安心して住み続けられるしまづくり

めざす姿

- ① 長崎駅周辺部を中心とした都市機能の力が周辺都市に波及するまちづくり
- ② 世界遺産や歴史を活かした賑わいの創出
- ③ 基幹産業育成、漁港等の集出荷機能強化の生産性向上等による活力ある産業育

地域の広域行政の拠点となる振興局(地域づくり分野)の管轄地域をベースとしております。
 なお、分野によっては地域区分が異なる場合があるため、地域が重複する市町には※を付しています。

めざす姿

- ① 九州・長崎 IR で目指してきた交流人口拡大や産業振興、雇用創出等を踏まえた地域経済の活性化
- ② 広域周遊・滞在型観光の促進、西九州自動車道等の交通ネットワーク整備推進による賑わいあふれる地域づくり
- ③ 地場産業の振興と魅力的な雇用就労環境の整備、中山間地域でのスマート農業推進、海業の展開など力強く魅力ある産業の創出・振興
- ④ 治水・防災対策、港湾・交通インフラ整備、原子力防災、基地との共存共生を進め、安全・安心で活力にあふれ、健康で生きがいを持って暮らせる持続可能な地域

県北地域

佐世保市、平戸市、松浦市
 西海市、東彼杵町、川棚町
 波佐見町、小値賀町、佐々町



シイラのブランド化



九十九島
 (提供:ながさき旅ネット)

県央地域

諫早市、大村市
 東彼杵町※
 川棚町※
 波佐見町※

めざす姿

- ① 交通結節点としての特性を活かした活気あるまちづくり
- ② 半導体関連産業等の製造業と農林水産業の振興と人材確保
- ③ 豊かな自然、充実したスポーツ施設、県立・大村市立一体型図書館、干陸地や堤防道路等の地域資源を活かした賑わいある地域づくり
- ④ 閉鎖性の強い水域の環境保全や活性化、河川の総合的な治水対策を推進し安心・安全に暮らせる地域づくり

島原半島地域

島原市
 雲仙市
 南島原市



長崎諫早工場完成予想
 (提供:京セラ株)



諫早駅東口

めざす姿

- ① 農林業のスマート化、地域特産品の強化、島原道路整備による産業基盤構築や企業誘致による若者の定着
- ② 世界ジオパークや原城、島原城周辺の歴史的資源の活用、サイクルツーリズム等広域連携を通じた賑わいあふれる地域づくり
- ③ こどもたちの健やかな成長を期待し、能力と可能性を高め、多様な活躍につなげる
- ④ 健康で生きがいを持ち、安心して暮らせる地域づくり
- ⑤ 噴火災害伝承と防災教育を中心に、道路整備、地すべり対策、リアルタイムの情報提供で安心・安全で持続可能な地域づくり

長崎・西彼地域

長崎市、長与町、時津町、西海市※



みかんのシートマルチ栽培



端島炭坑(軍艦島)
 (提供:ながさき旅ネット)

基盤強化。観光都市・産業集積地としての活

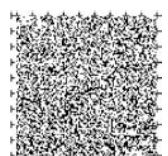
出と世界の平和活動をリードするまちづくり
 化、長崎産水産物の付加価値向上、農畜産物
 成



基盤整備された農地(雲仙市 愛津原地区)



雲仙地獄



12 計画推進のために

本計画の実現に向けては、県民や地域、団体、大学、企業、市町など多様な主体がそれぞれの役割のもと、連携しながら、「新しい長崎県」づくりに取り組んでいくことが重要と考えています。

そのうえで、地域の担い手の一つである県としても、計画の実行性を確保するため、予算や人員等の行政資源を適切に配分、投入し、各施策や事業の効果が最大限に発揮されるよう絶えず効果的かつ効率的な県政運営に努めていく必要があります。

これらを踏まえ、計画を着実に推進するための県政運営の取組について以下に示します。

■ 挑戦と持続を両立する行財政運営

県が持つ財源や人材などの経営資源を充実させ、さらに効果的に活用することで、将来にわたって質の高い行政サービスを安定的に提供できるよう、行財政の運営に取り組めます。

- 多様な人材の確保・育成及び市町・民間など多様な主体との連携により、社会情勢の変化に柔軟に対応できる組織づくりを推進します。
- 施策の重点化等による歳出の見直し及び歳入確保に向けた取組により、財政の健全性を維持します。
- 業務プロセスの改善及びデジタル改革により、県民の利便性向上及び業務効率化を推進します。
- 職員一人ひとりが高い意欲を持ち、それぞれの能力や個性を発揮できる環境づくりを推進します。

■ 効果的なマネジメント・サイクルの展開

各施策の「めざす姿」の実現に向けては、効果を測定できる適切な目標値を施策や事業群等に設定し、政策評価を通じた毎年の達成状況の検証や進捗管理を行いながら、必要な改善及び見直しを行うPDCAサイクル等によるマネジメント・サイクルを確実に展開します。

なお、目標値については、県民にとってわかりやすく、成果を表すアウトカム指標を用いることとし、可能な限り、定期的に把握できる定量的な数値目標の設定に努めます。また、各分野の個別計画等の目標値とも整合性を図ります。

- 施策の目的、活動、成果を体系的に整理し、政策課題との因果関係を明確化することにより施策効果の検証精度を向上させます。
- 施策や事業の立案においては、EBPMの考え方を取り入れ、客観的データ等により現状・課題を正しく把握・分析し、より実効性や効率性が高い手段を選択します。
- 評価結果については、県民に対してわかりやすく公表するほか、次の施策構築や予算配分にも活用させていきます。
- 計画期間内における社会経済情勢の変化に柔軟かつ機動的に対応する、いわゆる「OODA(ウーダ)ループ」など、新たなマネジメントの手法や考え方についても適宜、研究・活用しながら成果の獲得につなげていきます。

■ ながさきブランディングの推進

長崎県には、歴史や文化、離島をはじめとする豊かな自然、そこから生み出された食など、他県にはない魅力がたくさんあります。そのような長崎県の魅力をブランドとして確立するため、長崎県では、県全体のブランディングに取り組んでいます。

- ・県内外への調査から判明した、長崎県のブランド価値である「多様性、包容力」をわかりやすい言葉やデザインで表現したブランドロゴ、メッセージ、ステートメントを作成。
- ・このブランドロゴ等を活用しながら、県一体となってブランディングに取り組んでいきます。

ブランドロゴ、ブランドメッセージ



みなが咲き、ながさき。

ブランドメッセージに込められた想い

- ・「me(県民ひとりひとり)+ながさき」という、「ながさき」そのものから生まれた言葉であり、すべての長崎県民を主役に。
- ・食や文化、伝統、暮らし、平和など、すべての長崎の構成要素の源となる「人」を表現し、何年経っても古くならない普遍性が生まれる。
- ・「みなが咲く」と言うことで、長崎県のすべてのまちの魅力を尊重し、それが長崎県のエネルギーであることを表現。
- ・未来を担う子どもたちから長崎の歴史をつないできたおじいちゃん、おばあちゃん、ひとりひとりの思いを大切に誰一人取りこぼさない。
- ・覚えやすく、一目見ただけで覚えられるため、小さな子どもからお年寄りまで親しみやすい。また、県外の方から見ても理解しやすい。

ブランドロゴの成り立ち

- ・21市町それぞれの大地、海、空を包むやわらかいエレメントで花びらを表現し、それらが集まって一輪の花を形成することで、「ひとりひとりの魅力が咲く県」であることを表現。
- ・真ん中に平和の象徴であるハトを描くことで、長崎県民の「内なる平和への願い」を表現。

ブランドステートメント

長崎は「ひと」で、できている。

豊かな食も、青い海も、1,479もの島々も。

伝統的な文化も、異文化への愛も。

そして、未来の可能性も。

「ひと」を大切にすることこそ、

交流が生まれ、新しい活力が生まれ、

それぞれの土地で、魅力的な個性がたくさん躍動していく。

それは、長崎の未来を動かすエネルギー。

ナガサキ、NAGASAKI、いろいろな顔があるけれど、

ひとつひとつの愛着、ひとりひとりの希望、

すべてが輝いて、ひとつの長崎です。

県民の皆様のご意見をうかがいながら 計画を策定しました

総合計画の策定にあたっては、「県民総ぐるみの計画」として、様々な分野の有識者で構成する「長崎県総合計画・総合戦略懇話会」や県内各地域の方々との意見交換会を開催したほか、高校生・大学生など若い世代や働く女性の皆様との意見交換、県民アンケート調査、パブリックコメントなどを実施し、県民の皆様から幅広くご意見をうかがいながら検討を深めてきました。



女性活躍推進グループ会議との意見交換



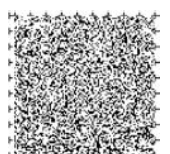
長崎県総合計画・総合戦略懇話会



高校生との意見交換



大学生からの政策提案



【編集・発行】長崎県企画部政策企画課

〒850-8570 長崎市尾上町3番1号 TEL095-824-1111(代)

<https://www.pref.nagasaki.jp/>

長崎県



目の不自由な方のための音声コード

この概要版には、音声コードとコード位置認識のため、切込みを入れています。
スマホ用音声コードアプリ(Uni-Voice Blind)で音声情報を聞くことができます。

「長崎県総合計画みんなの未来図2030」の全文については、県のホームページに掲載しています。

